

## 2025年度 御殿場プレミアム・アウトレット保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月6日（火）～1月16日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月24日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子ども中心・子どもの最善の利益を考え、子どもが主体的に遊べる環境づくりをしていくように心がけた。子ども一人ひとりが活動や行事に楽しく参加し、取り組むことができた。
子どもの発達援助	行事や製作は、年齢、月齢、発達段階を考慮して声かけや援助をおこなった。環境整備をして、子ども達が満足するまでやってみて、達成感を感じられるような保育をおこなうことができた。
保護者に対する支援	保護者から相談や質問を受けた時は、職員全員で対応の仕方や内容を話し合って共有した。書類などは見本例や付箋を活用して分かりやすくして、職員が同じ説明ができるように改善に努めた。
保育を支える組織的基盤	小さなことでも話し合い、考えを同じにするようにミーティングを活用して共有を図った。特に保護者支援に関しては職員数も増えたことで共有を密にして、園の考えを揃えて全職員が対応できるようにした。

総評
<p>職員が増え、体制が変わったことを機に、職員間の意見をまとめ、方向性を合わせていくことが出来た。今年度クラス別活動の時間では、年齢や月齢にあった活動を取り入れて、子どもが主体的に満足するまで遊ぶ活動ができたが、全体での活動も多かったため、来年度はさらにクラス別活動の時間を設けて、充実させていきたい。</p> <p>食育は子どもが喜ぶクッキング形式を多く取り入れて五感を働かせ、子どもたちが楽しく行う様子がみられたので、来年度にも活かして食に興味をもてるようにしていきたい。</p>